



生物基礎「体細胞分裂の観察」

2025 年 9 月 2 日

本日、生物基礎の授業(1年生)で、タマネギの体細胞分裂の観察実験に取り組みました。使用した材料は、事前に固定(細胞の活動を止める処理)や染色(染色体を見やすくする処理)、細胞の解離(細胞同士の結合を弱め、見やすくする処理)が施されたタマネギの根端です。生徒たちは根端の先端部分(1~2mm)をスライドガラスの上で押しつぶす展開作業を行い、プレパラートを作成しました。

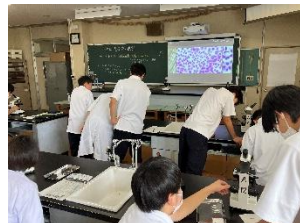


検鏡では、低倍率(150 倍)で分裂期の細胞を探し、その後見つけた細胞を視野の中心に移動させ、高倍率(600 倍)で詳細に観察です。

教科書に載っているような分裂期の細胞は数少なく、ほとんどの細胞は分裂前の「間期」です。なかなか分裂期の細胞を見つけられず四苦八苦している生徒もいましたが、分裂期の細胞を根気よく探し、前期・中期・後期・終期とそれぞれの特徴的な染色体の動きを確認しようと懸命に観察を続けました。

ヒモ状に見える染色体の凝縮(前期)、細胞の中央=赤道面に並ぶ染色体(中期)、染色体が分裂し両極に分かれていく後期、そして新しい娘核や娘細胞の形成が見られる終期と、細胞分裂全体の流れを実感できたようです。

班同士で見つけた分裂期の細胞を見せ合い、意見交換をしながら進めることで、活発な学びの場となりました。生徒たちは苦戦しながらも協力しあって、科学的な興味や観察力を育てていました。



班同士で見つけた分裂期の細胞を見せ合い、意見交換をしながら進めることで、活発な学びの場となりました。生徒たちは苦戦しながらも協力しあって、科学的な興味や観察力を育てていました。

災害に備え、地域と連携する防災訓練！ ～「自分ごと」として～

2025 年 9 月 4 日

9 月 4 日、阿南高校では地震災害を想定した防災訓練を実施しました。

午前中の SHR では、事前学習としてスライドを用い、地震発生直後の行動や揺れがおさまった後の対応について学びました。災害時にどのように行動すべきかを考えながら、命を守る知識を身につけました。

午後には避難訓練を行い、生徒たちは速やかに体育館へ避難。



その後、地元の防災士の上野さんをお迎えし、講演をしていただきました。

上野さんは、能登半島地震の被災地で実際に避難所支援

に携わられた経験をお持ちで、現地の様子を写真とともに紹介してくださいました。

特に「避難所でのトイレ問題」に焦点が当てられ、吸水性高分子ポリマーを使った簡易トイレの方法を紹介していただきました。

さらに、「避難所トイレに何が欲しいか」というテーマでグループ



ワークを行い、生徒たちが主体的に考える時間も設けられました。

「プライバシーを守るための間仕切りやテント」、「消臭剤や芳香剤、消毒液」、「音姫」や「使用中の看板」など、高校生ならではの視点

から様々なアイデアが出されました。

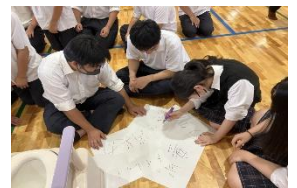
地域との連携を深める訓練に

今回の訓練には、阿南高校のあるの御供地区と中谷地区の区長さん方にもご参加いただきました。これは、災害時に地域の避難場所となる本校と、地域



住民の皆さんが顔の見える関係を築くための重要な一歩です。生徒たちが真剣に訓練に取り組む様子をご覧いただき、いざという時に地域全体で協力するための第一歩を踏み出せました。

今日の訓練を通して、生徒たちは災害への備えについて具体的なイメージを持つことができたはずで、防災を「自分ごと」として捉え、災害時に自分たちにできることを考える貴重な機会となりました。今回の学びを活かし、もしもの時に備える心を忘れずにいきたいですね。



9 月 8 日の皆既月食 一時間・方角・観察ポイント

2025 年 9 月 5 日

台風 15 号の影響で、JR 飯田線は昨日の夜の段階で「新城～駒ヶ根間」が発発から運転を見合わせるとの発表がありました。生徒やご家庭には昨晚メール連絡をし、今日は休校となりました。伊那谷の多くの学校でも同様に休校となったようです。

ところで、9 月 8 日(月)の未明から明け方にかけて、とても神秘的な天体ショーが私たちを待っています。それは「皆既月食」です。

空気が澄んで月が綺麗に見える 9 月。夜空に浮かぶ満月が、かじられていくかのように少しずつ欠けていき、やがて全体が暗く、そして不思議な「赤銅色」に染まる(ブラッドムーン)、とても貴重な瞬間です。

日本で皆既月食が見られるのは、2022 年 11 月以来、実に 3 年ぶりだそうです。月曜日(8日)からの学校(授業)のことを考えると少しためらってしまうかもしれませんが、可能であれば、夜空を見上げてみましょう！

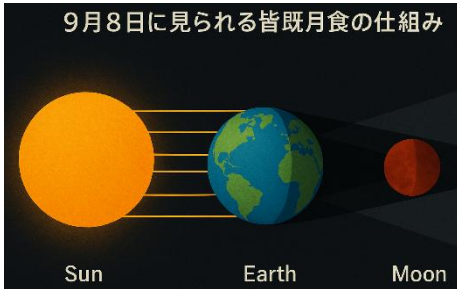


『月食のしくみ』

月食は、地球が太陽と月の間に入り、地球の影が月にかかることで起こります。

太陽の光を浴びて明るく輝いている月が、地球の影の中に入ってしまうため、月に光が届かなくなり、暗く色が変わって見えるのです。

注)この図は、生成 AI (Chat GPT)と協力して作成



9月8日に見られる皆既月食の仕組み

『皆既月食を楽しむための時間と方角』

皆既月食のハイライトは、月が地球の影にすっぽりと隠れる「皆既食」の時間です。この

時、月は太陽の光が当たらず、ほんのりと赤く見えます。

国立天文台によると、皆既食の詳しい時間は以下の通りです。

- * 皆既食の始まり：9月8日(月)午前2時30分
- * 食の最大：9月8日(月)午前3時12分
- * 皆既食の終わり：9月8日(月)午前3時53分

特に午前2時30分から3時53分までが、最も赤く美しい「ブラッドムーン」を見られるチャンスだそうです。この間、月は南西から西の空低く(20度ぐらい)に見えるようなので、できるだけ西の空が開けた場所で空を見てください。

『なぜ月は赤くなる?』

皆既月食の際、月が「赤銅色」に見えるのは、地球の「大気」が関係しています。

地球の大気が、太陽の光の中から赤い光だけ(地球を避けるように曲がって)月に届けているからです。赤い月は、地球全体が月に映し出す、幻想的な影絵のようなものなのです。

『見られなかったら?』

残念ながら、天気が悪かったり、深夜起きられずに見逃してしまった場合、次のチャンス(日本で皆既月食が観測できるのは、2026年3月3日の未明から明け方にかけてだそうです。

もしブラッドムーンを見ることができたら、きっと皆さんの心に美しい思い出が残ります!

【参照 WEB サイト】

・国立天文台(NAOJ)

<https://www.nao.ac.jp/astro/sky/2025/09-topics01.html>

・アストロアーツ

https://www.astroarts.co.jp/special/20250908lunar_eclipse/index-j.shtml

国立天文台(NAOJ)



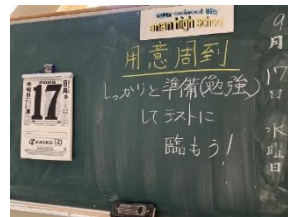
アストロアーツ



進路・選挙・考査 — 9月、生徒たちの挑戦 —

2025年9月17日

9月も中旬も過ぎましたが、連日日中は35℃近まで上がり残暑が厳しいですが、虫の音や植物等から少しずつ秋の気配が感じられるようになりました。



この時期、生徒たちはそれぞれに様々な「挑戦」に真剣に取り組んでいます。

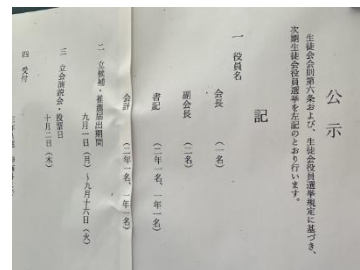
本日9月17日から、2学期の中間考査が始まりました。試験初日の教室では、真剣な眼差しで問題

用紙に向かう生徒たちの姿が見られました。昇降口の黒板には

「用意周到」という力強い言葉が掲げられています。「しっかりと準備してテストに臨もう!」という伊藤教頭先生からのメッセージは、日々努力を重ねてきた生徒たちの胸に深く響いたことでしょう。中間考査は、自分の成長を確かめる大切な機会です。これまで培ってきた力を信じ、最後まで諦めずに頑張ってもらいたいと思っています。



中間考査と並行して、阿南高校ではもう一つ大切な動きが始ま



っています。来年度の生徒会役員選挙の公示が行われ、いよいよ選挙戦が本格化していきます。10月2日には立会演説会と投票が予定されています。未来の阿南高校を担う1・2年生の中から、学校のために自ら行

動しようとする頼もしい立候補者が誕生することでしょう。

新しい風を吹き込み、阿南高校をさらに魅力的な学校にしてくれるリーダーたちの活躍を楽しみにしています。

先週9月13日(土)には、80名を超える生徒、PTAの保護者の皆様、地域の方々、同窓会の皆様、そして教職員が一体となり、校舎の環境整備作業として壁塗りを行いました。あいにく私は弓道の南信新人体育大会のため参加できませんでしたが、見違えるほど美しくなったろうかの壁を目にして、心より感謝いたします。雨も降り蒸し暑い中でのご協力、本当にありがとうございました。皆様のお力添えにより、校舎はより明るく、学びやすい環境へと生まれ変わりました。



そして、先週9月12日には、3年生の就職希望者を対象とした就職試験激励会が行われました。早い生徒はすでに昨日から試験に臨んでいます。生徒たちは皆、真剣な表情で話を聞き、未来を切り開くための準備を重ねてきました。これまで積み重ねてきた努力は、きっと実を結び強く願っています。

こうした様々な出来事を通して、生徒たちが日々成長し、多くの人々に支えられていることを改めて実感します。3年生はそれぞれの進路実現に向けて、1・2年生は学習やクラブ、生徒会等々と、これからも、生徒一人ひとりの挑戦を全力で応援していきます。





休部中のグラウンドに、希望の草刈り

2025年9月23日

先日(9月21日(日))、阿南高校野球部 OBの方々が、野球部グラウンド(川田グラウンド)の草刈りにご協力くださいました。朝方



までの雨も上がり、朝から晴天に恵まれる中、本当にありがとうございました。

連日の猛暑が少し和らいできたとはいえ、日中の気温が上がる中での作業は、大変だったと思います。OBの方々が、汗を流しながら、丁寧にグラウンドを整備してくださり、心から感謝いたします。

阿南高校に野球部が誕生したのは昭和57年(1982年)で、当初は軟式野球同好会でした。練習の場は天竜川の河原であったそうです。現在の野球部グラウンドの川田グラウンドは、昭和62年(1987年)3月20日、多くの関係者のご協力とご尽力によって完成しました。そして、念願の専用グラウンドができたことで、その年の夏、軟式野球部は硬式野球部に移行されました。(*「長野県阿南高等学校五十年史」*より)



以降、この川田グラウンドで多くの野球部員が汗を流し、感動を分かち合ってきました。しかし、少子化に伴う生徒数の減少により、現在、野球部は休部状態が続いています。そんな中、母校の野球部のために、休日を返上してご奉仕くださったOBの皆様の温かいお気持ちは、頭が下がる思いです。グラウンドをきれいな状態に保ってくださったOBの方々の想いが、いつの日か再び、この川田グラウンドで白球を追う生徒たちの姿が見られることを切に願っています。

本当にありがとうございました。今後とも、阿南高校へのご支援、よろしくお願いいたします。

安心・安全な学校生活へ —CAP研修で育む人権意識—

2025年9月24日

本日9月25日、1年生を対象としたCAP研修がスタートしました。

この研修は、いじめや暴力から自分と仲間を守るための大切な人権プログラムです。特定非営利活動



法人
子ども

も・人権・エンパワメント CAPながのの方にお越しいただき、生徒たちは熱心に研修を行いました。

ロールプレイングやグループワーク

を通じ、自分の気持ちや意見を尊重する体験を重ねました。これにより、自己肯定感の向上や、他者との健全な関係を築くための力を育んでいきます。また、劇を通して、身体的、言葉によるものなど様々な形の暴力やいじめについて知り、それに対し「いやだ」と明確に伝えることを学びました。



残りの研修プログラムは明日(9月26日)行われます。このCAP研修を通して、生徒たちが、より安全で安心できる学校生活を送るための力を身につけてくれることを期待しています。



+ 職員ブログ「TEAM anan」より

3年福祉系 県外企業研修(愛知県)(要約)

2025年9月30日

3年福祉系の生徒を対象に、福祉の仕事や考え方を広く学ぶことを目的とした県外企業研修を実施しました。今年は、松本義肢製作所様(小牧市)、内田工業株式会社様、鶴舞公園(名古屋市)



を訪問しました。

午前は松本義肢製作所様にて、義肢装具の歴史や資格について学び、製作現場を見学。戦後の負傷兵支援から始まった義肢の歴史を受け止めつつ、現在

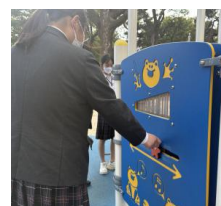
はパラスポーツなど多様なニーズに応える製作が行われていることを知りました。素材や技術の進化により、使用者の身体や目的に合わせた義肢が可能となっており、女性技師の必要性や人材育成の課題にも触れました。義足のデモ体験では、違和感や痛みへの配慮の重要性を実感し、専門性の高さを学びました。



午後は内田工業株式会社様を訪問。インクルーシブ公園の設計・施工を手がける企業で、誰もがありのままに遊べる公園づくりについてお話を伺いました。「ウェルビーイング」や「ユーザビリティ」といった視点から、使う人の声を反映するものづくりの大切さを学びました。



その後、鶴舞公園を視察。福祉的要素を持つ遊具や設備に触れ、実際に楽しむ利用者の姿が印象的でした。名古屋市緑化センター様からは、障がいのある方による草花の手入れや、自然体験学習の取り組みについてご説明いただき、生徒も草花の香りや特性を体験しました。



りを学ぶ貴重な機会となりました。

ご協力いただいた企業・施設の皆様に心より感謝申し上げます。

阿南町にも多くの植物があることから、こうした自然との関わりは地域の公園づくりにも活かせると感じました。今回の研修を通じて、福祉の広がりや地域とのつなが

